

神奈川畜産情報

発行所
神奈川県畜産会
横浜市磯子区西町143
畜産センター内
電話 045(761)4191
FAX 045(759)1162
発行人
平本光男



隔月1回(1日)発行

〔神奈川畜産情報(平成18年1月号以降)はホームページでもご覧になれます〕

神奈川県畜産会のホームページ

「かながわ畜産ひろば」<http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm>

農業の発展などに功績のあった方へ贈られる公益社団法人大日本農会の令和6年度農事功績者表彰で、神奈川中央養鶏農業協同組合会長の彦坂茂氏(座間市、採卵鶏経営(法人))が緑白綬有功章を受章いたしました。昨年11月14日(木)には、大日本農会総裁秋篠宮皇嗣殿下の御臨席の下、赤坂インター・シティAIRにおいて、表彰式が開催されており、今般、栄えある受章をお祝いする記念祝賀会が、令和7年4月17日(木)横浜ベイシェラトンホテル&タワーズにて関係者111名が集い、盛大に開催されました。

受賞の栄に浴されました彦坂茂氏は、環境に配慮したウインドレス鶏舎の導入とともに省力機械を導入して農場の衛生管理対策を推進し、安全安心な鶏卵の生産体制を確立して加工販売や海外輸出等の販売の多角化を実現、また、養鶏場の近代化を率先し地域農家への新技術導入に寄与し、地域雇用の創出と6次産業の推進及びブランドの創出に貢献、さらには他畜種の団体と協力して、農畜産物のPR活動に尽力されるなど、多数の功績が評価され、名誉

彦坂茂氏 大日本農会 緑白綬有功章受章 記念祝賀会が開催される

る章を受章されました。

受章者あいさつでは、彦坂茂氏から、「緑白綬有功章を拝受したことは大変名誉なことであり、関係各位の多大なるご支援のおかげと心より感謝しています。もとより、故彦坂茂一氏、故彦坂恒夫氏、故彦坂治美氏の築き上げたものがあればこそ今があると考えており、これからは神奈川県の畜産業界の発展のために、若い人たちの育成のお手伝いをしていきたい」とのごあいさつがありました。誠におめでとうございました。

(畜産会 高尾)



地方競馬の収益金は
畜産振興に役立てられています。

川崎競馬開催日

6月16日(月)~6月20日(金)ナイター
7月 7日(月)~7月11日(金)ナイター



新任のごあいさつ

神奈川県畜産課長 佐藤剛志



域の家畜保健衛生所が実施する衛生対策指導にご理解、ご協力をいただきますながら、引き続き発生予防対策の強化に取り組んでまいります。

また、堆肥の流通停滞や飼料価格高止まりといった課題に対応するため、耕畜連携による堆肥の利用促進や飼料作物栽培体系の実証に力を入れたいと考えています。まずは、畜産農家と耕種農家が堆肥と飼料をお互いに供給し合うモデル地域を支援し、良質堆肥による地力低下の解消と飼料生産基盤の確保による畜産経営の安定化を目指します。

このたび、神奈川県環境農政局農水産部畜産課長を拝命いたしました。これまでに県職員として培ってきた経験を活かしながら、県内畜産業の発展に向けて、微力ながら努力してまいります。

さて、国内では豚熱や高病原性鳥インフルエンザの発生が後を絶たず、畜産業にとって重大な脅威となっています。口蹄疫やアフリカ豚熱は、隣国である韓国や中国で発生が相次いでおり、国内へウイルスが持ち込まれないよう国は水際対策を徹底しているところではありますが、決して予断が許される状況ではありません。神奈川県としましても、皆様が安心して経営を続けられるよう、地

を図つていくことも大切だと考えています。

令和8年には、神奈川県畜産会は設立70周年を迎えるとかがつております。長年に渡り、本県畜産業の振興と発展に尽力されてきた神奈川県畜産会の皆様に心から敬意を表します。このような歴史ある神奈川県畜産会をはじめ、JA、畜産関係団体や市町村の皆様のご協力をいただきながら、生産者の皆様と一緒に、畜産振興施策を推進してまいりますので、ご支援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

県人事異動（順不同）

（四月一日付）

新任所属長は

佐藤剛志 畜産課長

小菅知之 畜産技術センター所長

島村剛 県央家保所長
仲澤浩江 湘南家保所長

◎畜産課

▽課長（畜産技術センター企画指導部長）佐藤剛志▽課長代理（同調査整グループ技幹）甲斐崇▽調整グル

主幹（畜産技術センター企画研究部）荒井眞弓

課主任研究員）西田浩司▽調整グループ主査）堀口昌秀▽調整グループ主事（新採用）行友貴洋▽畜産振興グループ副技幹（同主査）平野幸子▽畜産振興グループ技師（食肉衛生検査所技師）飯島智大▽畜産振興グループ技師（湘南家畜保健衛生所技師）古瀬歩美▽畜産環境グループGL（原央家畜保健衛生所主査）山本英子▽安全管理グループ主任技師（湘南家畜保健衛生所主任技師）安井嘉代子▽安全管理グループ主事（新採用）今井知之

（新採用）行友貴洋▽畜産振興グループ副技幹（同主査）平野幸子▽畜産振興グループ技師（食肉衛生検査所技師）飯島智大▽畜産振興グループ技師（湘南家畜保健衛生所主査）山本英子▽安全管理グループ主任技師（湘南家畜保健衛生所主任技師）安井嘉代子▽安全管理グループ主事（新採用）今井知之

◎湘南家畜保健衛生所

▽所長（県央家畜保健衛生所長）仲澤浩江▽企画指導課主任技師（県央家畜保健衛生所主任技師）佐々木麻優子▽防疫課長（畜産課安全管理グループ副技幹）閔間佐和子▽防疫課主査（食肉衛生検査所主査）辻寛子▽防疫課主任技師（県央家畜保健衛生所技師）主査（食肉衛生検査所主査）辻寛子▽防疫課主任技師（県央家畜保健衛生所主任技師）戸田久美子▽防疫課主任技師（県央家畜保健衛生所技師）海老澤久美子▽防疫課主任専門員（新採用）（県央家畜保健衛生所主任専門員（再任用））後藤裕克

◎畜産技術センター

▽所長（畜産課長）小菅知之▽企画指導部長（同普及指導課長）仲澤慶紀▽管理課主査（県西地域県政総合センター森林保全課主査）吉田昌樹▽管理課主任（青少年センター主任）中島寛己▽企画研究課主任研究員（畜産課調整グループ副技幹）白石葉子▽企画研究課主任研究員（畜産課畜産振興グループ副技幹）田直美▽企画研究課技師（新採用）田村紗来▽普及指導課長（県西地域県政総合センター地域農政推進課副技幹）平井久美子

◎その他

▽湘南県政総合センター地域農政推進課長（畜産課畜産環境グループ

GL）森一憲▽湘南地域県政総合センター総務課主事（畜産課調整グループ主事）池言乃▽健康医療局総務室主任主事（畜産課安全管理グループ主任主事）西澤友宏▽食肉衛生検査所主任技師（県央家畜保健衛生所技師）野川英明▽食肉衛生検査所技師（県央家畜保健衛生所技師）久保田彩▽湘南地域県政総合センター県民・防災課長（畜産技術センター副主幹）古野一平▽横須賀土木事務所主任主任（畜産技術センター主任主任）小島富子▽湘南地域県政総合センター地域農政推進課主査（畜産技術センター主任研究員）引地宏二▽横浜川崎地区農政事務所地域農政推進課副技幹（湘南地域県政総合センター地域農政推進課副技幹）辻浩之▽県西地域県政総合センター地域農政推進課副技幹（横浜川崎地区農政事務所副技幹）折原惟子

◎退職者（三月三十一日付）

▽坂上信忠（畜産技術センター所長）▽阪本雅紀（湘南地域県政総合センター地域農政推進課長）▽森村裕之（湘南家畜保健衛生所専門家畜指導員）▽浅川祐一（湘南家畜保健衛生所主査）▽岡京子（畜産課安全管理グループ副技師）

新規採用職員紹介

畜産課調整 G 行友貴洋

畜産課安全管理 G 今井知之

県央家畜保健衛生課 春口知輝

湘南家畜保健衛生課 池田光慶

畜産技術 C 企画研究課 田村紗来

誰もが安心して暮らせるやさしい社会の実現を目指します。

そのような中で畜産課の予算について、畜産経営の体質強化を図るため、

○生産能力の高い優れた乳牛の増産技術を活用した生産基盤の強化への取組

○国産飼料確保やエコファーム活用に向けた取組支援○県産畜産物の評価を高め販路拡大につなげるための取組支援○特定家畜伝染病（豚熱、口蹄疫、鳥インフルエンザ等）について、農場の飼養衛生管理の強化等による発生予防や万が一発生した際に備えた体制の充実・強化への取組○畜産業における脱炭素社会の実現に向けた取組○畜産農家と耕種農家の連携（耕畜連携）を推進し、良質堆肥生産及び供給態勢構築や耕種農家による飼料作物栽培体系の実証を行うとともに、生産された農産物の高付加価値化に向けた検討を行うなど、総合的な支援に取り組みます。

予算規模は5億4,600万円であり、以下に施策分野ごとに整理した主な事業等を紹介します。

令和7年度県畜産関係当初予算の概要について

神奈川県の令和7年度当初予算案は、新かながわグランドデザインに掲げる施策を着実に推進するための予算として編成しました。子どもが健やかに育つ社会環境を整備するため、子ども・子育て支援の推進を図るほか、2050年脱炭素社会の実現に向けた取組を進めるなど、喫緊の課題に対応していきます。また、

共生社会の実現に向け、障がい児・者的生活を支えるサービスの充実強化に取り組むとともに、「災害に強いかながわ」に向けた取組を推進し、デジタルの力を活用しながら県民目線に立った行政運営を行うことで、

1 畜産技術振興関係 20,949千円
飼料の輸入依存体質から脱却し、飼料基盤の安定強化を図るため、飼料生産に向けた作付けの奨励、国産飼料の調達に向けた経費支援、エコ

ファーム等の推進に向けた飼料成分

分析等を行います。

畜産経営の健全な発展を推進するため、生産・経営技術指導を行うほか、家畜商・家畜人工授精師免許交付事務及び畜産業振興事業等の受託事業などを行います。

2 畜産飼料対策関係

1、268千円

飼料製造業者等への指導及び飼料の分析検査等を行うとともに畜産農家の適正使用指導を行うほか、配合飼料価格安定対策事業に対して補助します。

3 生乳流通改善調整事業関係

3、368千円

良質な生乳の生産振興の推進等に對して補助するとともに、加工原料乳生産者補給金制度の適正な運営を図ります。

4 食肉鶏卵流通改善事業関係

8、869千円

鶏卵の価格安定対策事業及び養豚経営安定資金の造成に対して補助します。

5 酪農活性化推進事業関係

5、195千円

酪農業の活性化を図るため、酪農

関係団体と連携し、経済性を重視した後継牛確保のためのプランニングの推進に取り組むとともに、若者の県内酪農業への就職を促進するため、県内高校生等の牧場における実践的研修に対するフォローアップを行います。

6 畜産経営環境整備事業関係

6、131千円

家畜排せつ物の適正処理を指導するとともに、開放豚舎の気流をコントロールすることで臭気を集約する方法や効率よく脱臭する方法を検討します。

7 元大野山乳牛育成牧場関係

55、615千円

大野山乳牛育成牧場跡地の適正な管理を行うとともに、牧道を県営林道に移管するため、県営林道として利用者が安全に利用し、県が確實に管理できるよう、安全施設の設置等、確定した規格に基づき工事を実施し、県営林道に移管します。

8 養豚対策関係

38、070千円

養豚経営の体質強化を図るため、畜産技術センターで造成した優れた能力を持つ系統豚を活用した豚肉の

銘柄化を進めます。

9 畜産物販売促進事業関係

6、733千円

県産畜産物の評価を高め販路拡大につなげるため、県と生産者団体で構成する協議会において、認知度向上に資する情報発信力の強化に取り組むとともに、県産肉用鶏「かながわ鶏」のブランド力の強化に向けた取組など、県産畜産物の出口戦略を推進します。

10 耕畜連携推進事業費

18、384千円

畜産農家と耕種農家の連携（耕畜連携）を推進し、良質堆肥の生産、供給態勢構築や耕種農家による飼料作物栽培体系の実証を行うとともに、生産された農産物の高付加価値化に向けた検討を行います。

11 家畜保健衛生費

232、000千円

口蹄疫やヨーネ病等の家畜伝染病の発生予防及びまん延を防止するため、検査や指導等を実施するとともに、迅速かつ的確な初動防疫を実施し、まん延防止に努めます。また、家畜の慢性疾病対策や畜産物の安全性を確保するため、畜産農家への衛

生対策指導を行います。さらに、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく動物用医薬品の適正な製造・販売等の監視指導を行うとともに、獣医師法や獣医療法に基づく適切な獣医療を提供する事業に対する補助や獣医師等への指導監督を行います。

12 特定家畜伝染病対策事業費

137、691千円

（家畜保健衛生費の内数）家畜伝染病のうち、発生時に大きな影響を及ぼす特定家畜伝染病（豚熱、口蹄疫、鳥インフルエンザ等）

について、農場の飼養衛生管理の強化等により、県内における発生予防を図るとともに、万が一発生した際に備えた体制の充実・強化を行います。

13 畜産技術センター費

149、416千円

高能力家畜の改良増殖を図るためのOPU等の受精卵移植技術や、都市と調和した畜産経営を行うための畜舎排水の高度処理技術、牛由来の温室効果ガス削減に有効な地域資源の利用方法の検証などの試験研究を行います。

畜種間交流が活性化!

桜の花もいよいよ見納めが近づいた4月中旬、厚木市内で神奈川畜産交流ゴルフコンペ・懇親会が開催されました。

ゴルフコンペには牛、豚、鶏の畜種の垣根を超えて、生産者、畜産関係者、神奈川県畜産振興議員顧問団から森正明団長(平塚市)、田中信次幹事長(横浜市泉区)の22名が参加、当日は大雨と落雷が予想される中、皆様の日々の行いなのか、熱い願いが通じたのか、奇跡的に終始雨にも雷にも見舞われることなく、プレーを通じて楽しく交流が図られました。

第2部の懇親会は厚木市内の醉笑苑に場所を移し、後発隊も含め22名

が参加、神奈川食肉センターで処理された新鮮なホルモンに舌鼓を打ちつつ、大いに交流を深めました。

神奈川県畜産振興会の志澤勝会長から、「畜産農家が減つていけば、残された畜産農家が地域で経営を存続していくことはますます難しくなる。厳しい情勢だからこそベンチマーキングに取組み、経営を良くすることが必要だ」といった発言がありました。

同会長からの発案で、出席者全員がそれぞれ神奈川の畜産に対する熱い思いを披露し、「消費地にある神

奈川の畜産は日本の畜産の縮図と考えておらず、将来のためにも神奈川が頑張ることが大事だ」「畜産は365日家畜に向き合う仕事なのだから、それに見合う儲けが伴わない」と畜産をやりたいという人は出てこない、「新しいことにチャレンジして頑張っている畜産農家こそしつかり支援していくことが大事だ」など、1時間以上にわたり次々と繰り出される本音に都度拍手喝采がわき起きました。また、「市街化調整区域における直売所の設置が叶わない」、「神奈川では相続税がネックで子への継承が叶わぬ廃業せざるを得ない実態がある」といった切実な思いが語られました。

議員顧問団からは、田中幹事長から令和6年度環境農政常任委員会委員長として飼料米や乳製品加工販売施設を調査し耕畜連携や地産地消に係る取組の推進に繋げたご報告があり、森団長から、「課題には短期的に対応する部分と中長期的に対応する部分があり、このことをしつかり考えておかないといけない」、「牛のことは養豚農家にはわからない、他もしかり。皆さんは専門家として、それの道を究めてほしい」「現場を知ることが大事。現場訪問を企画してほしい」といった

交流会は1日がかりの長丁場でしたが、出席した皆さんの表情は充実感にあふれていました。

交流会を成功裡に導かれた幹事の彦坂誠神奈川中央養鶏農業協同組合組合長はじめ企画に携わった皆様に感謝するとともに、今後もこうした交流の輪が広がることを期待しております。



牛マルキン

(肉用牛肥育経営安定交付金制度)

交付状況

令和七年一月～二月交付金、概算払い
単価(肥育牛一頭当たり)

○肉専用種

一月

二月

二八、七〇〇・三円

○交雑種

一月

交付なし

○乳用種

一月

交付なし

二月

四六、二三八・六円



(畜産会 倉迫)

広告

畜産物を生産するためのコストが
上昇しています。

皆様に国産の畜産物を食べていただくことが
生産者の応援に繋がります。

公益社団法人
中央畜産会

東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイビル9F

中央畜産会 TEL.03-6206-0840

QRコード

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。

採卵鶏へのエコフィード(パスタ)を利用した飼料費の低減方法

飼料価格の高騰対策のため、市販配合飼料に未利用資源(エコフィード)を添加し、採卵鶏へ給与した際の生産性、卵質、鶏卵売上高及び飼料費への影響を検討しました。

エコフィード原料の調製

パスタ製造工場で、パスタの押出成形する際に発生する水分約30%の規格外品を屋内でほぐし、工場扇を用い約50時間送風して乾燥させ、水分約10%としたものを製粉機で1cm前後に粉碎して飼料に混合しました（図1）。



試験方法

期間：令和6年5月17日～11月29日（25～52週齢）
 方法：成鶏用配合飼料（対照区）にパスタを10%（10%区）及び15%（15%区）を混合した飼料をボリスブラウン（BB）及びジュリアライト（JL）に給与し、生産性、卵質、期間中の鶏卵売上高及び飼料費を比較しました。

結果

対照区と比較して、10%区では産卵率、日産卵量、卵黄色が低下し、15%区では産卵率、卵重、日産卵量、卵黄色、卵殻強度が低下しました。また、破卵率は、BBでは15%区が増加しましたが、JLでは差がありませんでした（表1）。

期間中の鶏卵売上高及び飼料費は、BB、JLとも対照区>10%区>15%区の順に高く、収支（鶏卵売上高と飼料費の差）はBB、JLとも15%区>10%区>対照区の順に大きくなりました（図2）。

表1 鶏種別 給与飼料のパスタ混合割合と生産性及び卵質

鶏種	試験区	飼料摂取量 (g/羽/日)	産卵率 (%)	卵重 (g)	日産卵量 (g)	飼料 要求率	卵黄色	卵殻強度 (kg/㎠)	破卵率 (%)
ボリス ブラウン	対照区	111.7	93.0	62.0	57.7	1.93	14.1	4.57	4.5
	10%区	108.4	89.2	61.5	54.9	1.98	13.9	4.49	4.7
	15%区	106.0	89.2	60.8	54.3	1.96	13.7	4.32	6.9
ジュリア ライト	対照区	109.1	98.4	61.0	60.0	1.82	13.9	5.16	3.1
	10%区	107.6	97.1	60.5	58.8	1.83	13.7	5.01	3.1
	15%区	109.0	97.3	59.5	57.9	1.88	13.7	5.06	2.6

赤数字は対照区と有意差があります。

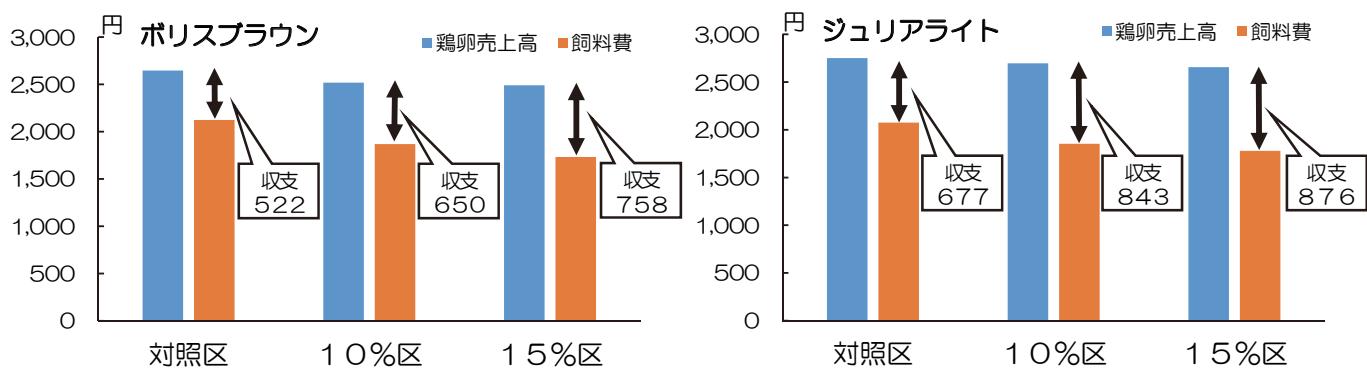


図2 鶏種別 給与飼料のパスタ混合割合と鶏卵売上高及び飼料費の試算（円/羽）

配合飼料へのパスタ混合は、生産性は低下しますが、飼料費を抑制することができます。今回の試験結果では、ジュリアライトにパスタ10%混合飼料の給与が、生産性への影響が少なく、収支を確保できることが判りました。

（畜産技術センター 佐々木駿）

暑熱対策で生産性を守ろう

私が子供の頃から地球温暖化は重大な問題だと叫ばれていますが、最近は特に夏が暑く、さらに長くなっています。令和2年に報告されたデータは100年間あたり約2℃も上昇しており、猛暑日の年間日数も10年あたり約0.2日増えています。今後もさらなる気温の上昇が予想されています。

気温が上がると家畜にも影響はあるのでしょうか。牛も豚も鶏も暑さに弱いと言われています。豚や鶏には汗腺がなく、人間のように汗をかいて体温調整はできません。繁殖豚では18℃前後、採卵鶏では18～24℃が適温とされています。また牛には汗腺はありませんが、発酵胃による熱生産のために暑さには弱く、乳牛では5～20℃が適温です。

家畜が体温調整できる限界の温度を超えると急激に体温が上昇し、食欲減退、受胎率低下の他、乳牛では乳質悪化、採卵鶏では卵殻質低下を招き、また、免疫力が低下することにより病気にかかりやすくなるなど生産性に影響を及ぼし、場合によつては

家保だより

畜舎内への熱エネルギーの伝導を防ぎましょう。②の家畜の体感温度を下げるためには、畜舎内に送風機を設置して空気を動かす方法や、スプリンクラーなどを設置して水を蒸発させることで

人間もぼちぼち休みをとりながら、家畜も人間もみな健康にやっていくことを目標にし、なにか問題が起つた時はいつでも家畜保健衛生所にご相談ください。

(湘南家畜保健衛生所・宮崎)

赤帽とは荷担ぎの人だつた話し合いは根競べ

ローマ・カトリック教会のフランシスコ教皇がお亡くなりになりました。12年前の枢機卿の互選による選挙ではなかなか決まらず数日を要したことが思い出されます。この選挙の事を「コンクランベ」と

言うんだそうだけど、いつでもなかなか決まらないで、日本語の「根競べ」かと思つてしましました。きっと根気よく、争わずに話を煮詰めて結論を出したのでしようね。

アメリカのトランプ大統領はアメリカ

新むらすすめ

本や中国、カナダ、メキシコ等々に過大な関税負担等を要求している。相手国に高い関税をかけたら、その品物を購入するアメリカ市民が物価高騰で困窮するだろうに。自国の製造業を活性化させて労働者の雇用を拡大するには売れる製品を製造することが肝要であろう。

相手国の製品価格を関税によって高騰させて自国の生産意欲を高めるより、先ず相手に売れる製品、買ってもらえる物品を作る努力から始めるのが妥当ではないのか。しかも、それを穩やかに話す話し合いでなくディール(取引)

肉用子牛生産者
補給金制度

令和6年度第四四半期(7年1月～3月)の指定肉用子牛の品種区分ごとの平均売買価格は次のとおりでした。

黒毛和種 五八九、七〇〇円
交雑種 三八九、四〇〇円

乳用種 二〇五、二〇〇円

黒毛和種・交雑種・乳用種は保証基準価格、合理化目標価格を共に上回っているので、生産者補給金の交付はありません。

(忠九朗)

(畜産会
香取)

井上亮一氏、旭日雙光章を受章され、受章記念祝賀会が開催される

公益社団法人横浜市獣医師会相談役（元会長）井上亮一氏が、令和6年秋の叙勲にて「旭日雙光章」受章の榮誉に輝きました。

これに伴い、令和7年2月24日（月・祝）、ホテルニューグランドにて受章記念祝賀会が開催され、来賓として出席された山中市長を始め、ご臨席の143名が井上氏の榮誉を祝し、大いに盛会となりました。

井上氏は、獣医師・獣医療に関する功績、横浜市と獣医師会との協働事業を積極的に推進し、横浜市の動物愛護行政に係る新たな事業の発足に協力した功績、ワンヘルスの理念の普及を推進した功績、また、産業動物の畜産振興及び畜産農家の衛生指導に協力されてきた功績により、名譽ある章を受章されました。

受章者あいさつでは 井上氏から、「獣医事功労により旭日雙光章の栄に浴し身の引き締まる思いでございます。これもひとえに皆様のご指導とご支援の賜物と深く感謝申しあげます。今回の叙勲は私個人ではなく、皆様に支えられていただいたものでございます。この榮誉に恥じる

ことの無いよう、獣医師として精進し今後とも職責を果たし社会貢献に尽力してまいる所存です。」とのございさつがありました。畜産イベントへの参加や家畜伝染病に関する県との連携など、本県の畜産振興にも多大なご協力を賜りました井上氏の受章を心よりお慶び申し上げます。

（畜産会 高尾）



5月23日（金）募集締切 （一社）神奈川県畜産会 職員募集のお知らせ

予定人数 1名

採用予定 令和8年4月1日

応募資格 新卒者 大学院、大学で畜産技術を学び令和8年3月までに卒業又は終了見込の方

既卒者 大学院、大学で畜産技術を学び卒業していること

平成9年4月2日以降に生まれていること

給与等 給与月額 260,060円（調整手当含む） 賞与 年2回（6月、12月）

畜産関係に従事していた場合、給与月額は経験年数に応じ本会の規定により定めます。

諸手当：通勤手当、住宅手当、扶養手当、時間外手当ほか

勤務時間 午前8時30分～午後5時15分 休日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

休暇 有給・夏季・特別休暇 福利厚生 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

選考試験 第1次試験（書類選考）

募集締切 令和7年5月23日（金）

提出物 履歴書、卒業（又は卒業見込み）証明書、教授等の推薦書

成績証明書及び職務経歴書（既卒者のみ）

合格発表 令和7年6月中旬

第2次試験（小論文、適正検査、面接）

論文 令和7年7月7日（月）必着

適正検査・最終面接 令和7年7月中旬～下旬を予定

問合せ先 電話 045-761-4191（担当：香取）

詳細は募集要項（畜産会HP）

をご覧ください

